

朝日連峰スキー統走

1981.4/28~5/4 遠山義樹 記

4/29朝 急行さおう3号 福島駅で故障。おかげで6:15発のバスに乗り遅れ、結果的に向沢からバスタクシーとなつた。10:15大井沢着。ひとりでさかしく出発準備をつけると、同じコースを天狗まで行くといふ仲間が、表われた。オハザマ氏といふ山師の人で、天狗で一泊し、4/30に同コースを下山とのこと。竜ヶ岳への登りの焼峰以外はシールを使用してきた。竜ヶ池付近は夏道からかなりはずれたコースをとつた。雨量観測所の手前の斜面によかつた。初日でもあり、つかれていて滑る元気が出なかつた。心のこゝだ。標準コースタイム4.5のところ5.5hをかかつて16:15天狗小屋に到着。新築の2階建。先客が一人、3人で占領となつた。4/30 5:00起床。天気は雨。朝メシを済ませて、朝帰。一瞬、太陽が顔を出した。つらかつ起きで、二度目の朝メシ。また雨。それでも、10:30先客と出発。視界の悪い中を約5hで狐穴小屋へ。この小屋はガスか出ひいたらまず見つかりられない。幸い着いた時はガスが少なかつた。しかし雨と汗で全身ぬれつて気持ち悪い。小屋も天狗とは大違ひで、暗くて狭い。ひとりで占領。置きのりの燃料で、バナを全開、服は半乾きとなり、なんとかシラフの中へところかへ気持ち悪くてひととんど眼を閉ざす。

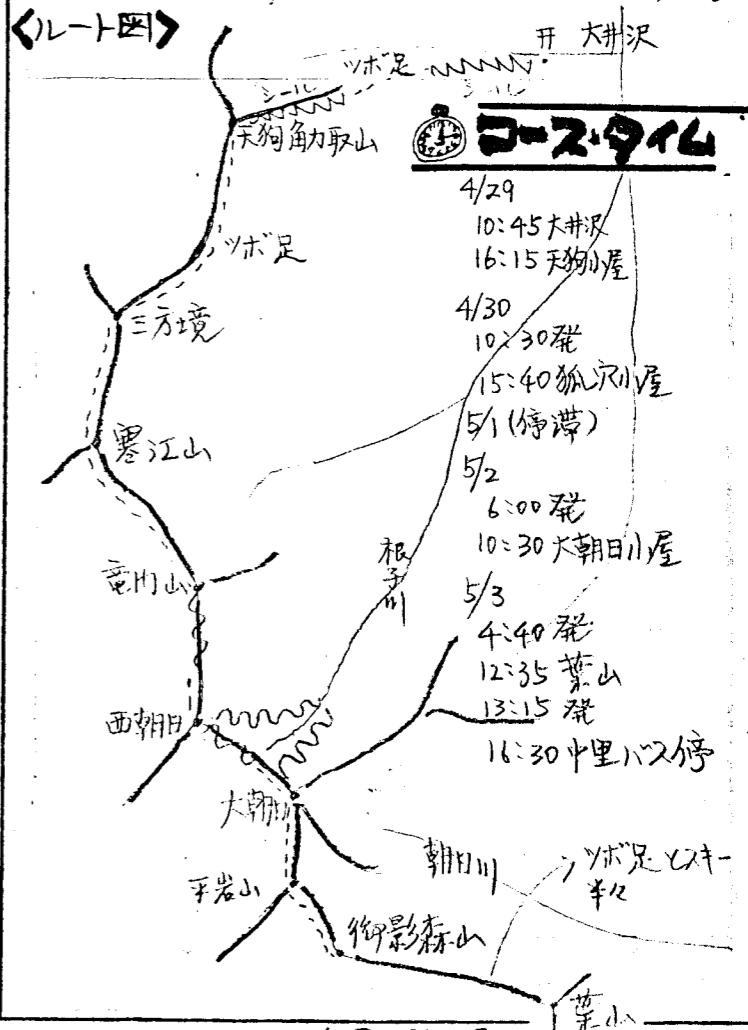
5/1 5:00起床。雨とガスで、視界5m。あきらめて、停滯。小屋の中を点検すると燃料の他にも置きのりの食料が、ひとりなら2週間分はゆうにある。持れてヒマつぶしに腹ごこち。5/2 晴。6:00発。西朝日と中岳の斜面を下り

よく滑り、大朝日小屋 10:30着。翌日は天気が心配なりで、前進しようか、Y字雪渓で迷ひうがまよりにまおつ、結局、中岳頂上へ入ソウカ沢を滑ることにした。ちょうど適度な斜度で、快適であった。3:30スキーを打切りて小屋へ。最初小屋へ入ったときは自分たちだけ、210-1人、10数人が入つた。今までの小屋は独占状態だったが、さすがに大朝日小屋である。4:00に天気図を描いた。佐久庄から韓国へ九州に来ており、5/3の天気はダメだと半ばあきらめたが、年前の中はなしで、持つだろと気をとりながら、夕食を済めに付し宿に5/3 8:30起床。朝焼けはない。よろこひのきで、カラーメンで朝メシ、4:40朝焼けの真赤は太陽を見ながらの眺め。大朝日を下り、平岩山への途中でテント発見。横を通り抜けるとき、4の子が顔を出し、「アスキーを持ってる」との好奇の目にたじたじとなつた。無理もない、大朝日～平岩山は雪かきないのである。御影森山からは雪が多くなり、コースの半分は滑降可能。従つてスキーの着脱に力をいふこととなつた。1分程度で着脱ができるところまで上達した。1423mピークからと中岳峰からの下りがよかつた。他はいずれも短かくて、かづかづ。八形峰から葉山へのコースは全体にならかで、現在地の状況が非常におちがう。

初めてで、ガスがもしかしたらおり上りとしながら、コースに不安を感じながら、12:35葉山付近に着。大休憩。13:15発。葉山から下り、大休憩。17:15発。御影森山へ下り、18:30中里バス停

本当に迷つてしまつた。ガスが少し出たので視界が悪くなりだした。尾根上から長井市の方面を見て、学校の位置と特長のある峰を見つけて、ひとつ手前の尾根を下ろすとしているのに気がついて、コース修正。下山路の標識も発見して一安心。もろに傾斜のゆるい、ジグザグコースへ出た。後で、バスの運ちゃんに聞いたら、夏になると長井市民が葉山神社へ登るため道がよく整備されているとのこと。山菜を取しながら無事中里へ16:30に到着。実に行動時間12Hである。我々から、身体に感心しただけである。

<ルート図>



810603

3

No.00065